

2022年7月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+10.8	立 川 店	△4.4
堺 店	△1.2	大 宮 店	+0.5
京 都 店 ※	+3.4	柏 店 ※	+3.3
泉 北 店	△3.8	(株)高島屋各店計	+11.1
日 本 橋 店	+8.7	岡 山 高 島 屋	+11.2
横 浜 店 ※	+13.2	岐 阜 高 島 屋	△2.9
新 宿 店	+33.4	高 崎 高 島 屋	+6.6
玉 川 店	+13.4	(株)高島屋各店 および 国内百貨店子会社計	+10.6

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総売上高)で開示しております。

※ 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

■ 概況

○7月度の店頭売上は、新型コロナウイルスの感染者数が増加したものの、高額品をはじめ消費意欲が堅調であったことから、前年実績を上回りました。

店頭売上	前年比 +10.6%	2019年比 △6.8%
免税売上	前年比 +153.2%	2019年比 △57.3%
免税を除いた店頭売上	前年比 +8.7%	2019年比 △3.2%

○店舗別売上では、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、大宮店、柏店、岡山店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上(当社分類による15店舗ベース)では、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビングなどが前年実績を上回りました。